

- 問1 元禄時代から江戸時代後半にかけて、日本の農業は技術革新によって生産力が向上しました。この時期に普及した「千歯こき」という農具が、農作業のどの工程において革新をもたらしたか、最も適切な説明を選択してください。 (2017年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------|-------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1. 硬い土を深く耕して肥料の吸収を良くする工程 | 2. 刈り取った稲の穂から籾を落とす脱穀の工程 | 3. 重さの違いを利用して籾とゴミをより分ける工程 | 4. 低い場所にある河川から田に水を汲み上げる工程 |
|--------------------------|-------------------------|---------------------------|---------------------------|
- 問2 元禄文化の時期に、それまでの本の挿絵から独立した絵画として、人々の生活や風俗を描く「浮世絵」を確立し、「見返り美人図」などの作品を残した人物は誰か。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|---------|---------|
| 1. 雪舟 | 2. 葛飾北斎 | 3. 歌川広重 | 4. 菱川師宣 |
|-------|---------|---------|---------|
- 問3 五代将軍・徳川綱吉の時代を含む江戸時代中期には、農業技術が大きく進歩しました。この時期に普及した、稲の穂から籾（もみ）を効率よく引き落とすことができる金属製の歯がついた農具を選びなさい。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|-------|---------|
| 1. 備中鍬 | 2. 踏車 | 3. 唐箕 | 4. 千歯こき |
|--------|-------|-------|---------|
- 問4 秋田県の角館などの歴史的な城下町において、道路が格子状ではなく、わざと複雑に折れ曲がっていたり、丁字路（突き当たり）が多く設けられていたりしている構造が見られます。このような道路の仕組みが作られた主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 雨水がたまらないよう傾斜をつけ、排水効率を向上させるため | 2. 火災が発生した際、強い風が通り抜けて延焼が広がるのを防ぐため | 3. 敵の侵入時に見通しをきかなくさせ、軍事的な防御力を高めるため | 4. 大行列が民家を避け、スムーズに通行できるようにするため |
|---------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|
- 問5 江戸時代の農村において、貨幣経済の普及が教育に与えた影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 自給自足の生活が徹底されたため、教育の必要性がなくなり学習施設が減少した。 | 2. 生活水準が向上し、農作物の売先に読み書きや計算が必要となったため、寺子屋が普及した。 | 3. 武士が農村に移り住んで読み書きを教えたため、幕府公認の藩校が全国の村々に建てられた。 | 4. 物資の交換による経済が中心となったため、文字よりも計算を重視する私塾が急増した。 |
|--|---|---|---|
- 問6 17世紀後半、イギリスで起こった名誉革命の際に制定された文書はどれか。この文書は、国王は議会の同意なしに法律の効力を停止したり、税を徴収したりできないことを定めている。 (2018年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|-----------------|
| 1. 人権宣言 | 2. 権利の章典 | 3. 独立宣言 | 4. マグナ・カルタ（大憲章） |
|---------|----------|---------|-----------------|
- 問7 江戸時代を通じて発展し、現代まで継承されている伝統芸能である「歌舞伎」の成立について説明した文として、最も適切なものはどれか。 (2024年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 出雲出身の女性が京都で男装をして踊ったことを始まりとし、広く民衆に受け入れられた。 | 2. 江戸時代に近松門左衛門が脚本を書き、三味線の伴奏に合わせた人形を操る劇として成立した。 | 3. 平安時代の宮中行事で行われていた舞踊が、江戸時代に武士の教養として形式化された。 | 4. 足利義満の保護を受け、観阿弥・世阿弥の親子によって芸術性の高い舞台芸能として大成された。 |
|--|--|---|---|
- 問8 1873年にウィーンで開催された万国博覧会に関連する記述において、18世紀末に世界で最も早く産業革命を実現し、高度な技術力を披露した国が登場します。この国の首都として適切な都市名を次から選びなさい。 (2021年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|--------|-------|
| 1. ロンドン | 2. ベルリン | 3. ローマ | 4. パリ |
|---------|---------|--------|-------|
- 問9 天保の改革において行われた「株仲間の解散」が、当時の社会に与えた影響やその背景を説明したものとして、最も適切な記述を選びなさい。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 幕府の財政難を救うために、商人から多額の献金を得る目的で行われたが、商人の反発を招き財政はさらに悪化した。 | 2. 外国船の来航に備えて軍事費を確保するために行われたが、武士の反対にあい、国防体制の整備が遅れることとなった。 | 3. 物価高騰の原因が商人の独占にあると考え実施されたが、流通網が混乱したため、期待されたほどの効果は上がらなかった。 | 4. 地方の特産品を江戸に集めやすくするために行われた結果、江戸の物資不足が解消され、幕府の支持率が向上した。 |
|--|---|---|---|
- 問10 江戸幕府の歴代将軍が行った政策について、次の3つの説明に当てはまる将軍の組み合わせとして正しいものを選んでください。
①武家諸法度を改正して参勤交代を制度化し、鎖国を完成させた。②「生類憐みの令」を出し、極端な動物愛護を人々に強制した。
③享保の改革を行い、目安箱を設置して庶民の意見を政治に取り入れようとした。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 1. ①徳川秀忠 ②徳川綱吉 ③徳川吉宗 | 2. ①徳川家光 ②徳川綱吉 ③徳川吉宗 | 3. ①徳川家康 ②徳川家光 ③徳川綱吉 | 4. ①徳川家光 ②徳川吉宗 ③徳川慶喜 |
|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
- 問11 江戸幕府が大名に対して、一年おきに江戸と領地を往復させ、さらに妻子を江戸に住まわせる制度を設けた主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 大名に多額の費用を負担させて経済力を削ぎ、反乱を防止するため | 2. 大名の武力を強化させ、海外からの侵攻に備えるため | 3. 江戸の特産品を全国に流通させ、国内の商業を活性化させるため | 4. 大名の領地における農民の反乱を、幕府が直接鎮圧するため |
|-----------------------------------|-----------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
- 問12 江戸幕府が長崎において、オランダや清（中国）との限定的な貿易体制を維持した目的と仕組みについて、説明として最も適切なものを選びなさい。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|---|--|
| 1. 諸藩が独自に中国と貿易を行うことを奨励し、各地の産業を発展させるため | 2. 布教を目的としない国に限定して貿易を許可し、幕府が海外の情報を独占するため | 3. 鎖国による国内の物資不足を解消するため、全国の主要な港をすべて開放して自由貿易を行うため | 4. ポルトガルの要請を受けて、オランダと中国の商人が長崎に常駐することを認めたため |
|---------------------------------------|--|---|--|
- 問13 江戸時代の大阪と江戸を結ぶ海上交通の発展が、当時の経済や社会に与えた影響を説明したものとして、最も適切な記述はどれですか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 大阪が経済の中心地として繁栄し、全国の物資が集まる「天下の台所」としての地位を確立した。 | 2. 江戸の武士が自給自足を始めたため、大阪から運ばれる物資は次第に工芸品や嗜好品に限定された。 | 3. 五街道の整備を優先したため、海上交通による物資の輸送は一時的に衰退し、陸上輸送が主流となった。 | 4. 日本海側の各港と北海道を直接結ぶ航路が主流となり、大阪を経由する航路は次第に利用されなくなった。 |
|---|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 刈り取った稲の穂から籾を落とす脱穀の工程	千歯こきは「後家倒し（ごけだおし）」という別名を持つほど、脱穀の作業時間を短縮させた画期的な道具です。それまでの手作業に比べて数倍の速さで脱穀ができるようになったため、農業経営の効率化に大きく貢献しました。なお、土を深く耕すのは備中鍬、灌漑（かんがい）に用いるのは踏車、選別を行うのは万石通しであり、それぞれ役割が異なります。
問2	答え 4 菱川師宣	菱川師宣は、木版画の技術を用いて浮世絵を一般の町人に広め、浮世絵の祖と呼ばれます。選択肢にある葛飾北斎や歌川広重は、江戸時代後期の化政文化において風景画などで活躍した人物であり、雪舟は室町時代の水墨画の画僧であるため、時代背景が異なります。
問3	答え 4 千歯こき	江戸時代中期、農業の生産性を高めるために様々な農具が考案・普及しました。千歯こきは、それまで行われていた「こき橋」による作業に比べて脱穀の効率を劇的に向上させた道具です。このほか、深く耕せる備中鍬や、揚水のための踏車などの登場により、農業の集約化が進みました。
問4	答え 3 敵の侵入時に見通しをきかなくさせ、軍事的な防御力を高めるため	江戸時代の城下町は、軍事的な拠点としての役割を強く持っていました。そのため、外敵が攻めてきた際に城の中心部まで一気に直進されるのを防ぎ、また遠くからの見通しを悪くして敵の配置を把握させないように、道路をわざと屈曲させたり行き止まりを作ったりする工夫が施されました。秋田県の角館などの歴史的景観には、現在もその名残が見られます。
問5	答え 2 生活水準が向上し、農作物の売買に読み書きや計算が必要となったため、寺子屋が普及した。	農村に貨幣が流通し、農民が生産した作物を売って必要な物資を買うようになると、帳簿の作成や取引のために「読み・書き・そろばん」の習得が実利的なメリットを持つようになりました。経済的な安定によって子供を教育に割く余裕が生まれたことが、寺子屋という教育形態を全国に広める大きな要因となりました。
問6	答え 2 権利の章典	名誉革命の際、新国王ウィリアム3世とメアリ2世が議会の権利を承認した「権利の宣言」を法典化したものが権利の章典です。これによって、国王であっても法に従わなければならないという立憲君主制の基礎が築かれ、近代民主政治の出発点となりました。
問7	答え 1 出雲出身の女性が京都で男装をして踊ったことを始まりとし、広く民衆に受け入れられた。	歌舞伎は17世紀初め、出雲の阿国という女性が京都で披露した斬新な踊りを始まりとしています。当時の古文書には、身分を問わず多くの人々がこの踊りを歓迎した様子が記述されています。一方、能は室町時代に観阿弥・世阿弥が大成させたものであり、人形浄瑠璃（文楽）は近松門左衛門らが活躍した別の芸能です。
問8	答え 1 ロンドン	世界で最初に産業革命を成し遂げたのはイギリスです。その首都であるロンドンには、工業化による都市への人口集中が進み、世界の経済・政治の中心地として発展しました。イギリスは19世紀半ばには「世界の工場」と呼ばれるほどの圧倒的な工業力を誇りました。
問9	答え 3 物価高騰の原因が商人の独占にあると考え実施されたが、流通網が混乱したため、期待されたほどの効果は上がらなかった。	水野忠邦は、株仲間の特権的な独占販売が物価上昇の元凶であると判断し、自由な取引を促すために解散を命じました。しかし、これまで株仲間が担っていた商品の収集・輸送といった流通システムが機能しなくなり、かえって江戸への物資供給が滞り、経済が混乱する原因となりました。その後、幕末の1851年には再び株仲間の再興が認められることとなります。
問10	答え 2 ①徳川家光 ②徳川綱吉 ③徳川吉宗	徳川家光は3代将軍で、参勤交代の義務化や島原・天草一揆後の鎖国体制を確立しました。徳川綱吉は5代将軍で、儒教に基づく文治政治を推進する一方で「生類憐みの令」により民衆を混乱させた側面もあります。徳川吉宗は8代将軍で、幕府財政の再建を目指した享保の改革を実施し、裁判の基準となる「公事方御定書」の制定や目安箱の設置を行いました。徳川家康は初代、徳川秀忠は2代、徳川慶喜は15代将軍です。
問11	答え 1 大名に多額の費用を負担させて経済力を削ぎ、反乱を防止するため	参勤交代の制度は、大名に多額の旅費や江戸での滞在費を負担させることで、幕府に反抗するような軍事力を蓄えさせないようにする目的がありました。また、妻子を人質として江戸に置くことで、心理的にも反乱を抑止する効果がありました。
問12	答え 2 布教を目的としない国に限定して貿易を許可し、幕府が海外の情報を独占するため	幕府は幕藩体制の維持と安定を最優先とし、キリスト教の布教を伴うスペインやポルトガルを排除する一方で、貿易のみを目的とするオランダや中国（清）との取引を長崎に集中させました。これにより、貿易の利益を幕府が管理するだけでなく、オランダ船が持参する「オランダ風説書」などを通じて、海外の情勢を幕府が独占的に把握する仕組みを作り上げました。
問13	答え 1 大阪が経済の中心地として繁栄し、全国の物資が集まる「天下の台所」としての地位を確立した。	大阪には各藩の年貢米や特産物を保管・販売する「蔵屋敷」が置かれ、そこから江戸などの巨大な消費地へ物資を供給する仕組みが整いました。菱垣廻船や樽廻船による大量輸送が実現したことで、大阪は日本経済の心臓部として、江戸の100万人の人口を支える物流の要となりました。